相談員連絡会議　平成30年度の実施状況

資料№６

　市内の障害者相談員（7名）が定期的に集まり、相談を通じた中での課題等を話し合う。

　平成30年４月から11月まで15回開催

■話し合われた内容

　・報酬改定をうけての勉強会

　・ぐりーんバスケットの利用対象者について

　・介護保険への移行について

　・医療的ケア児、重度発達児への相談体制について

　・土日（休日）の過ごし方について

　・盗癖を繰り返さないための支援について

　・施設入所を希望しているが、区分など優先順位が低く、入所が厳しいケース

　・グループホーム利用者の介護移行について

　・65歳以上で就労系サービス利用者の介護サービスへの移行について

　・家族の中のキーパーソンが亡くなると心配なケースへの対応について

　・希望している施設入所になかなか結び付かない方を地域にどうつなげていくか

　・自殺対策事業について（市健康増進課、地域振興局健康福祉部がゲスト）

　・高等部卒業生の受け入れ先が厳しい現状について

　・計画にショートステイが入っているが、利用できていないケースについて

　・高齢の利用者で介護保険の対象とならない方について

　・就労定着支援の開始について

　・相談員と事業所の関係について

　・精神科病院から新設グループホームへの移行について

　・一人で道を間違えずに学校に通学できるためには

■今後の取組と課題

　・個々の相談員が悩んでしまうケースもあり、相談員同士で話し合う中で解決できる部分もあるため、継続して行う。

　・こういう場を続けることで、相談員同士の情報共有やスキルアップにつながる。

　・他の部会等に関わる案件もあり、そことの合同会議など連携する。